

1 1月定例記者会見事項書

平成 27 年 11 月 2 日（月）午後 1 時～
ハイピア伊賀 4 階 多目的室

1. 市長からの発表

11 月に入りました。朝から市政 11 周年を記念して、市政功労・善行賞の表彰を行いました。昨日から、伊賀市となって、12 年目になります。私も間もなく市長として 4 年目を迎えます。伊賀市の再生、地方創生などに一層尽力したいと考えています。

一昨日には、10 月 31 日でミラノ万国博覧会も閉幕しました。日本館が大変好評だったと、新聞各紙で伝えられています。私どもも、それに参画したという実績をもって、将来につなげていきたいと思うところです。

さて、秋の行楽シーズンを迎えています。市内の各地で、まつり等も開催されています。

今朝から、本庁や支所で「さるびの・やぶっちゃ共通入浴券」の配布が始まっています。本庁・支所で約 5,000 枚配布されますが、午前中から配布も順調であると聞いています。

（1）伊勢志摩サミット開催記念「海の幸・山の幸物産まつり」の開催について（資料No.1）

伊勢志摩サミットの開催を記念し、県内でも沿岸地域の志摩市と、山間地域の本市が物産面を中心に連携し、広く市内外に発信することで、その相乗効果

により相互の魅力を高めることを目的として「伊勢志摩サミット開催記念 海の幸・山の幸物産まつり」の開催を予定しています。

会場は、今年度供用を開始したしらさぎ運動公園多目的グラウンドにて、平成27年11月29日(日)午前10時から午後3時まで開催する予定です。

内容としては、両市物産等の販売、実食、コラボレーションブースなどの出展、三重県立相可高等学校などの出展も予定しています。

また催しとして、志摩市の大口市長によるマグロ解体ショーなど、市民の皆様に興味を持っていただけるような内容も企画しているところです。

なお、志摩市と伊賀市の連携は今回の行事のみに留めず、今後は志摩市の行事への参加など、継続的かつ積極的に取組みを進めたいと考えています。

(2) 新日本歩く道紀行 100 選シリーズの認定について (資料No.2)

去る、9月30日付けで、「新日本歩く道紀行 100 選シリーズ」文化の道 100 選部門において、伊賀市から「伊賀上野・城下町を巡るみち」が認定されました。

新日本歩く道 100 選シリーズは、新日本歩く道 100 選選考委員会によって、地域の誇るべき道を選び、道を歩く旅づくりによる新たな道資源を活用した活力の創出を目指すことを主たる目的として、「歴史・文化」「自然」「物産」の三分類、10の道のテーマに基づき、各テーマ100の道、合計1,000の道を認定するために募集されたものです。

平成26年10月10日から平成27年3月20日までの募集期間に、全国470の自治体や団体から825コースの道の応募があり、厳正なる選考の結果、493

の道が第一期の100選シリーズとして選定されました。

伊賀市が認定を受けた「伊賀上野・城下町を巡るみち」は、10テーマの道のうち、「歴史・文化」に属する「文化の道100選」部門になります。

このコースは、伊賀鉄道上野市駅を起点・終点とした全長約6キロのコースで、城下町の風情を残す街道を歩きながら、松尾芭蕉ゆかりの地や、歴史の舞台になった跡を辿る歴史満載のコースとなっています。町並みの風景を楽しみ、街道に連なる商店で買い物を楽しみ、さまざまな時代の歴史に触れることができるこのコースを、この機会にぜひ皆さんもぶらりと歩いてみてはいかがでしょうか。今後、事務局の方では認定された100選シリーズの道を活用し、旅行商品企画の造成や、ウォーキングイベントの実施、メディアでの道の紹介など、積極的に発信されていくということです。伊賀市もこれに併せてPRを行い、たくさんの人に歩いてもらいたいと思います。

(3) 伊賀産フードビジネスマッチングフェアの開催について（資料No.3）

伊賀の食材の魅力を伝え、販路拡大を目指して、本年度第2回目の「伊賀産フードビジネスマッチングフェア」を11月9日月曜日の午後2時から4時までの予定で東京都の日本橋にある「三重テラス」で開催します。

本年度の第1回目は9月29日に開催し、21店舗35名の参加があり、どの食材も大変好評で現在も交渉中ではありますが、既に何店舗かは新規の取引契約が成立する見込みと伺っています。

本年度につきましては、地方創生先行型交付金を活用して3回の開催を計画

しており、次回は、平成28年2月5日の予定となっています。

事業の概要としては、関東圏の飲食店オーナーやシェフ等を招待して、ホストシェフによる伊賀産の食材の良さを活かした調理メニューを提供し、試食会を開催するとともに商談会も行うものです。

当事業は、伊賀の食材の魅力を伝え、販路拡大と伊賀のファンを増やすことで、農業振興と地域の活性化に資することを目的としています。

食材には、伊賀牛・伊賀米・伊賀酒・菜種油等を使用し、出展ブースも設置してPRしていきます。

今回提供していただくメニューは、第1回目と同様に和食をテーマにしています。今回も伊賀の食材がどのような料理になるのか今から楽しみにしています。

当事業では、先にも申し上げたとおり販路拡大が目的であるので、一つでも多くの新規取引契約が成立するように結果にこだわって精一杯売り込んでいきたいと考えています。

(4) 伊賀上野忍者フェスタ in 上野恩賜公園の開催について (資料No.4)

伊賀市の観光・物産にかかる首都圏情報発信事業として、11月21日(土)～23日(月)の3日間にわたり、東京都台東区にあります上野恩賜公園にて「伊賀上野NINJAフェスタ in 上野恩賜公園」を開催いたします。

このPRイベントは、今年で3回目の開催となり、昨年度は3日間で20万人が来場され、大変ご好評をいただきました。

現在、10月31日から11月15日にかけて同じ台東区の浅草において「忍びの

里 伊賀産(いがもの)を味わう2015in 浅草」を開催させていただき、浅草の次は上野で伊賀市をPRしていきます。

内容としましては、伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による忍者ショーと、観光大使のいが☆グリオと仲間達によるパフォーマンス、忍者衣装を着た子供達によるダンスショーなどのステージパフォーマンスをはじめ、手裏剣打ち・吹き矢などの忍者体験とともに忍者衣装の貸出も行います。

物産に関しましては、伊賀米や伊賀産野菜をはじめ、日本酒、和菓子、伊賀くみひも、伊賀焼などを販売するほか、伊賀牛、伊賀米などを使ったメニューを提供する屋台も出展する予定です。

また、伊賀焼と伊賀組紐の実演と体験も行います。

今年も秋の3連休ということで、多くの来場者が期待できることから、今回のイベントに関しても大きな効果を期待しています。

(5) 女性の大活躍推進三重県会議への加入について (資料No.5)

伊賀市は「女性の大活躍推進三重県会議」へ10月23日に加入をしました。この会議は三重県内の経済や地域の活力をより一層高めることをめざし、広く女性の活躍推進の機運を醸成し、女性が活躍できる環境整備を進めることを目的とし、昨年9月に三重県が経済団体等の支援を受けて立ち上げたもので、約230件の企業や団体が加入しており、行政関係では伊賀市を含め11市が加入しています。

伊賀市の状況ですが、伊賀市職員における女性管理職の割合は、平成27年

4月1日現在 35.2%(一般行政職のみでは 28.7%)です。今年の調査結果はまだ発表されていませんが、一昨年、内閣府が発表した平成 25 年の数値は、33.3%で全国 789 市のうち 6 位でした。

審議会への女性登用率は、平成 27 年 3 月 31 日現在 31.1%で、前年の県内数値においては、30.5%で 14 市のうち 4 位でした。

住民自治協議会等運営委員会の女性の参画率は、30%を市の目標にしているものの、平成 26 年度末現在 15%に止まっています。

課題は、おもに住民自治協議会など地域づくりにおける運営委員会への女性登用で、参画率が低い要因としては、家庭生活を主に担わなければならないなど、女性が地域活動に参加することに制約があること、また、地域活動に女性が参画することを快く思わない社会の意識が存在することが挙げられます。この要因を取り除くべく、地域活動の方針決定の場に女性が参画できる仕組みづくりをしっかりと推進していきます。

2. 11月の主な行事予定

(1) 第 11 回伊賀市民スポーツフェスティバルの開催について (資料No.6)

開催日：平成 27 年 11 月 8 日 (日)

開会式：午前 8 時 30 分

競技開始：午前 9 時

(2) 第 20 回寺田文化祭の開催について (資料No.7)

開催日時：平成 27 年 11 月 15 日（日）午前 10 時から午後 3 時

開催場所：リバティなかせ兼教育センター及び寺田児童公園

(3) 2015 忍者の里伊賀上野シティマラソンの開催について（資料No.8）

開催日：平成 27 年 11 月 29 日（日）

開会式：午前 9 時

開会式場：伊賀市立上野西小学校グラウンド

3. その他（主な質疑）

（記者）

市長として 1 期目の 3 年間を振り返って、また残りの 1 年をどのようにしていくのか教えてください。

（市長）

3 年間を振り返りますと、出来ることを一生懸命やってきた自負があります。形として目にすることが出来るものがすくないと思われるが、市の財政再建はかなり順調に進めています。公共施設の課題には時間が必要であるが、市民生活における安心・安全のための新庁舎や消防庁舎など一定の道筋をつけることができました。

本日議会で検討していただく伊賀市の「にぎわいづくり」につきましても何らかの方向性を早く出していきたいと考えています。

伊賀市の持つポテンシャルの高さを、さらに形にして果実としていきたい。しっか

りとした伊賀市の経済基盤として、観光の誘客を図ることや、農業においてはしっかりと販売促進を行い、また、「儲かる農業」を行うことで後継者をつくり経済活動が続いていくような政策を進めて行きたいと考えています。

また、ミラノ万博への出展によりクールジャパンの重要なコンテンツの「忍者」を発信したことで、伊賀市といえば忍者といった認識をより多くの方に知っていただくことができました。最近は多くのメディアに取り上げてもらうことで、将来に向けての基盤づくりが進んでいると思います。残りの1年はこれらのことを更に推進していく必要があります。その後につきましても、更なる経済基盤を作るためには、もっと多くの時間が必要であると考えています。